

横浜市立緑園東学校 令和三年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
「よりよい自分 よりよい仲間」	健全な自尊感情の向上 自己教育力・人間関係力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校を作ります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくれます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

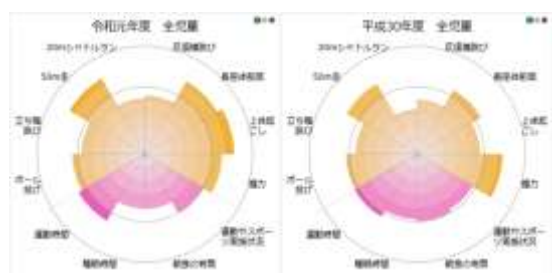
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①感染症予防対策を念頭に子どもの問題意識を生かして児童会や各委員会主催の「健やかな体づくり」に取り組む。 ②8月からの給食停止を受けて「食育」の充実を図り、食による健康な体づくりへの意識を高める。 ③新校舎での生活において、けがのないように努め外遊びの工夫に取り組む。 ④家庭や地域と連携し、学校の取組を自分の生活態度・生活習慣の形成に生かせるようにする。
担当	体育部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・朝食の摂取率が高く、95%以上の児童は毎日欠かさず食べている。
- ・保健に関する知識はあるが、日常の行動と結びついていない。
- ・地域行事への意欲的ではあるが、地域ではさらに参加してほしいと思っている。
- ・塾や習い事に通う子どもが多く、朝眠そうにしている子どもが多くみられる。

(2) 体力の概要と要因の分析（全校配布の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



昨年度体力テストは行えなかったが、学習意識調査のアンケートでは、90%以上の児童が体育科の勉強が大切だと答えている。

また、一昨年度の体力テストの結果から、反復横跳び、20mシャトルランについては、市の平均よりも下回っていることから持久力や敏捷性については引き続き重点的に取り組んでいき、運動経験を多くできるように活動を計画していく。また、睡眠や食事についても考える機会を作っていく。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・体育科では自分のよさや可能性に気づくことができることを目標とし、子どもをやる気にさせる展開の工夫や慣れの運動の充実を考え、研修に努める。
- ・運動会では体育科で培った資質能力をさらに発展させ、演技や競技の練習に取り組み、自分の可能性に気づくことができるようにする。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、学習の充実をめざす。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・運動委員会では休み時間に大縄やダンスなどを全校児童に呼びかけ行っている。また、「大縄集会」「逃走中集会」などを計画し、年間を通して、楽しみながら運動に取り組むことができる雰囲気をつくるようにする。
- ・学校保健委員会では、児童の実態にあったテーマを設定し、健康・安全に対する意識を高められるようにする。昨年は「ケガの病気プロジェクト」をテーマに、様々な委員会がテーマに向けた取組を進めている。
- ・地区の体育的行事に、積極的に参加できるよう、学校でもそれに向けた声かけをする。

課外活動

- ・保健委員会による保健集会の取組
- ・集会での体力づくりの充実
- ・給食委員会による給食週間の取組
- ・休み時間での運動の奨励
- ・学校保健委員会の取組

令和三年度 緑園東小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 心も体も病気O 自分の体と心を晴れやかにする体力づくり
～PDCAサイクル・ケガOプロジェクトを活用して～

《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上

《内容》 運動委員会・保健委員会（児童）が中心となって、運動を企画・運営したり、校内の衛生や安全を呼びかけたりしながら、全校児童・教職員で健やかな体づくりに取り組む。

- ・運動委員会（集会・休み時間に取り組めるような運動の提案）
- ・保健委員会（学校保健委員会・手洗いの奨励・廊下の安全の見守り）

●指 標： ①毎時間の授業のふり返し
②行事最中と行事後のふり返し
③生活実態調査から検証する。

学年での取組の具体

<p>1年</p> <p>○感染症予防をきっかけに、手洗いの大切さを理解し、自他の健康を保持する行動をとる意識をもって生活する。</p> <p>○授業のふり返りを、楽しかったことやがんばったことを中心に、記号等を用いた形で行う。</p> <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認や教材研究等に活用する。 	<p>2年</p> <p>○感染症予防のための知識をもち、学習前後の手洗いや、人との距離を保ちつつ楽しく運動をする。</p> <p>○授業の簡単な振り返りをして、学んだことや次にどんなことをしたいかを考える。</p> <p>○体育読本やカードを活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認や振り返りをする。
<p>3年</p> <p>○PDCA サイクルを意識した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてに沿ったふり返し ・ふり返しから次時のめあてづくり <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入やテキストとしての活用 <p>○ケガOプロジェクトへの参加を促す。</p>	<p>4年</p> <p>○PDCA サイクルを意識した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてに沿った学習計画とふり返し ・ふり返しから次時のめあてづくり <p>○体育読本を活用した授業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入やテキストとしての活用 <p>○ケガOプロジェクトへの参加を促す。</p>
<p>5年</p> <p>○友達同士で、アドバイスし合えるようにするために、「見る視点」を児童が理解し、児童同士の学び合いを充実させる。</p> <p>○体力を高めるために行われる運動の必要性を自ら感じ取らせ、日常的に運動の楽しさを味わわせたり、体力の向上を図ったりするために、振り返りにより、運動することの価値を認識する。</p>	<p>6年</p> <p>○単元の見通しや毎時間の振り返りを通して、体力を高めるために行われる運動の必要性を自ら感じ取らせ、運動の楽しさを味わわせたり、体力の向上を図ったりする。</p> <p>○運動に制限がある中でも、友達同士で「動き」を見合い、アドバイスをし合えるようにするために、「見る視点」を明確にする。</p> <p>○最高学年として、委員会や係活動で学校</p>

<p>○校内のけが〇を目指すために、そのための対策を考えて実行できるようにする。</p>	<p>の中心となり、びょうき〇プロジェクトに積極的に取り組めるようにする。</p>
<p>個別</p> <p>○身だしなみや身のまわりの安全に気をつけ楽しく運動ができるようにする。</p> <p>○準備運動や整理運動を通して、姿勢と運動・動作の基本的技能を身につける。</p> <p>○体育の学習では、年間を通して日常的に走る運動を取り入れ、体力向上を図り、併せて心の安定につながるようにする。</p> <p>○個別の支援計画に基づいた学習を展開するようにする。</p> <p>○休み時間に「おにごっこ」や「長縄」などの体を動かす遊びで運動不足の解消を図る。</p> <p>○地域行事に進んで参加し地域の一人としての役割を担うようにする。</p>	